

岩手県の 土地改良



CONTENTS

- 新年のご挨拶
水土里ネットいわて 会長 舘澤宏邦 ……………2
- 新年に当たって
全国水土里ネット 会長 野中広務 ……………3
- 平成22年度 農林水産予算の概算が決定 ……………4~5

2010(1月号)No.549

■発行所/岩手県土地改良事業団体連合会 盛岡市本宮二丁目10番1号
TEL(盛岡)019(631)3200 FAX(盛岡)019(631)3260

■編集発行人/川邊 賢治 ■印刷所/永代印刷株式会社

<http://www.iwatochi.com>

雪の朝(花巻市東和町)





新年のご挨拶

水土里ネットいわて

会長 館澤宏邦

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、清々しい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃、本会業務運営並びに農業農村整備事業の推進につきましては、特段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成21年を顧みますとき、一番はじめにあげられるのは歴史的な政権交代ではないでしょうか。

国民からの、マニフェストの実現と不況からの脱却という期待感を一身に受け、民主党が過半数を大きく上回る議席を獲得。民主、社民、国民新党の3党連立による鳩山内閣が発足しました。

新政権においては「農林水産業の立て直し」「農山漁村の六次産業化」そして「食の安全安心の確保」という3つの観点から政策を実行し、食料自給率の向上を図ることとしております。

その大きな柱となる戸別所得補償制度が、平成23年度から導入されることとなっており、来年度の米を対象としたモデル事業の実施を前に、農業経営の安定化に向けた農家の期待は高まっているところであります。

しかしながら、本県の農業農村においては、整備の遅れている水田のほ場整備や、老朽化の著しい農業水利施設の改修等も大きな課題として立ちはだかっており、農家の期待に応えるべく必要とされる農業農村の整備は着実に行っていく必要があると考えております。

申し上げるまでもなく、我が国は食料の大部分を海外からの輸入に依存しており、食料自給率が40%と、依然として先進諸国の中では最も低くなっております。

近年、めざましい経済発展を遂げている中国やインドなど新興国を含めた世界的な人口増加が進むと、我が国の食糧事情は危機的な状況に陥ることが懸念されているほか、いわゆる農地争奪の懸念も現実のものとして生じてきております。

このような状況の中で将来を見据えた時、農業農村を守っていくことは何よりも大切なことではないかと思う次第であります。

農地・農業用水は我が国の食糧供給力を支える基礎的な資源であり、多面的な機能を有する農地や農業水利施設を水土里ネットと地域の方々の手が携え、一緒になって後世に引き継いでいくため、我々は最大限の努力を怠ってはならないと思うのであります。

水土里ネットいわてといたしましても、従来にも増して会員の皆様をはじめ関係機関と緊密な連携を図りながら、新たな農業・農村づくりに向け、役職員一丸となって努力していく所存でございますので、更なるご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとりましてこの1年が実り多い年でありますよう祈念致しまして新年のご挨拶といたします。



新年に当たって

全国水土里ネット

会長 野中 広務

平成22年の年頭に当たり、全国の農業農村整備事業の推進に御尽力いただいております皆様に謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年は衆議院解散・総選挙が行われ、鳩山新政権が誕生致しました。新政権発足後に行われた新年度予算編成においては、行政刷新会議の「事業仕分け」により縮減・廃止を求められた事業も少なくなく、農業農村整備事業を推進している現場では、大変な混乱がおきています。

このような中にあっても、我々は農家の期待に応え、農業・農村のため、ひいては国民のために、必要とされる農業農村の整備をしっかりと行って行かねばならないと思います。

言うまでもなく我が国の食料自給率は40%前後と極めて低い状況にあり、65歳以上の高齢農家に6割を頼らざるを得ない危機的な農業構造と、厳しい農家経済の現状を鑑みた時、我が国の国民生活の安定と国土の持続性に対し、大きな危惧を抱かざるを得ません。

我が国の食料自給率を高めるには、水田の汎用化と農業水利施設の維持と更新を確実に進めるとともに、国土保全などの多面的な機能を有する農村地域の活性化に、今まで以上に取り組んでいくことが不可欠です。

日本の将来を見据えた時、日本の農業・農村を守ってゆくことは、何を置いても大切なことと思います。そのためには、先達が営々と築き上げてきた里地・里山の管理手法や、水田稲作農業の優れた持続可能なシステムを、水土里ネットが中心となり、地域の方々と一緒になって後世にきちんと引き継いでゆくため最大限の努力を惜しんではならないと思います。

地域の農業や集落が大きく変貌してゆく中で、地域の資源を地域の手でどのように守ってゆくのか、水土里ネットや都道府県水土里ネットとしてどのように行動し貢献していくのか等、真剣に考え、主体的に行動を起こしていく必要があるのではないかと思います。

農業・農村の危機的状況を打破するために、全国の水土里ネットをはじめとする仲間が結束して、地域から声を出し、必要な施策を提案し、積極的に行動していくことが何より重要だと思えます。

新しく輝かしい年の出発に当たり、私も皆様方とともに、全国の仲間とともに益々積極的な活動に取り組んでいくことを身の引き締まる思いとともにここに改めてお誓い申し上げたいと存じます。

本年が全国の皆様にとって良き年でありますように、御健勝と御発展を祈念いたしまして、私の新年の御挨拶と致します。

平成 22 年度 農林水産予算の概算が決定

1. 総括表

| 区 分 | 2 1 年 度 予 算 額 | 2 2 年 度 概 算 決 定 額 | 対前年 度 比 |
|-----------|------------------|----------------------|------------|
| | 億円 | 億円 | % |
| 農林水産予算総額 | 25,605 | 24,517 | 95.8 |
| 1. 公共事業費 | 9,952 | 6,563 | 65.9 |
| 一般公共事業費 | 9,760 | 6,371 | 65.3 |
| 災害復旧等事業費 | 193 | 193 | 100.0 |
| 2. 非公共事業費 | 15,653 | 17,954 | 114.7 |
| 一般事業費 | 6,993 | 6,355 | 90.9 |
| 食料安定供給関係費 | 8,659 | 11,599 | 133.9 |

(注) 1. 計数整理の結果、異動を生じることがある。

2. 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

2. 公共事業費一覽

(単位:百万円、%)

| 事 項 | 21 年 度 予 算 額 | 22 年 度 概算決定額 | 対前年度比 |
|-----------------|-----------------|-----------------|-------|
| 農業農村整備 | 577,220 | 212,939 | 36.9 |
| 林 野 公 共 | 260,925 | 187,030 | 71.7 |
| 治 山 | 99,190 | 68,833 | 69.4 |
| 森林整備 | 161,735 | 118,197 | 73.1 |
| 水産基盤整備 | 119,860 | 82,227 | 68.6 |
| 海 岸 | 17,965 | 4,900 | 27.3 |
| 農山漁村地域整備 交付金 | — | 150,000 | 皆増 |
| 一般公共事業費計 | 975,970 | 637,096 | 65.3 |
| 災害復旧等 | 19,250 | 19,250 | 100.0 |
| 公共事業費計 | 995,220 | 656,346 | 65.9 |

(注) 上記のほか、地域再生基盤強化交付金措置額を内閣府に計上。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

平成22年 元旦

会 長 館 澤 宏 邦

鹿妻穴堰土地改良区理事長

副 会 長 高 橋 三 一

江刺猿ヶ石土地改良区理事長

副 会 長 田 沼 齊

越前堰土地改良区理事長

専務理事 川 邊 賢 治

学識経験者

理 事 阿 部 克 郎

照井土地改良区理事長

理 事 加 藤 久 弥

小本川土地改良区理事長

理 事 及 川 正 和

胆沢平野土地改良区理事長

理 事 平 賀 巖

豊沢川土地改良区理事長

理 事 砂 子 友 男

久慈市土地改良区理事長

理 事 菊 池 勲

岩手中部土地改良区理事長

給付監事 浅 倉 俊 平

遠野市土地改良区理事長

監 事 高 橋 公 一

山王海土地改良区理事長

監 事 對 馬 喜 代 夫

室根土地改良区理事長

他職員一同